



GLOIRE

製品・テクノロジー 取り扱いマニュアル



今回は弊社商品をご購入いただきありがとうございます。

このマニュアルは商品の取り扱い、テクノロジー、
ロフトの調整方法を説明する為のマニュアルとなっております。

ご不明な点や、プロダクトの詳細については
巻末にございます弊社ウェブサイトをご覧いただくか、
カスタマーサービスコールへお問い合わせください。



目次	P2
テーラーメイド アジャスタビリティー テクノロジー	P3
各部・パーツの名称	P4
トルクレンチ	P5
FCTクイックインストラクション	P6
注意／FCTについて	P7
FCTポジションとロフトオプション	P8
FCTポジション(ロフト角)変更の手順	P9
注意事項	P10-P13

テラーメイド アジャスタビリティ テクノロジー

テラーメイドの調整機能は、スイングに適した細かなセッティングを行うことで、より大きな飛距離や正確性の高いショットを提供します。

FLIGHT CONTROL TECHNOLOGY

フライトコントロールテクノロジー



大きな飛距離を得るために、ロフト角を調整し、打ち出し角を高くしたり低くしたりする事ができます。

ロフト角は、表示ロフトを基準に±1.5°の範囲で8つのポジションから選択できます。

例1) GLOIRE 10.5°の場合、ロフト角は9°から12°の範囲で8つのポジションから選択することが出来ます。

FCTポジション

DR	+1.5° HIGHER	+0.75°U	+0.75°	UPRT	STD	-0.75°U	-0.75°	-1.5° LOWER
ロフト角	12.0	11.25	11.25	10.5	10.5	9.75	9.75	9.0
ライ角	59.5	60.25	58.75	61.0	58.0	60.25	58.75	59.5
フェース角	4.0C	2.5C	2.5C	1.0C	1.0C	0.5O	0.5O	2.0O

例2) GLOIRE FW#3 (15°)の場合、ロフト角は13.5°から16.5°の範囲で8つのポジションから選択することが出来ます。

FCTポジション

FW	+1.5° HIGHER	+0.75°U	+0.75°	UPRT	STD	-0.75°U	-0.75°	-1.5° LOWER
ロフト角	16.5	15.75	15.75	15.0	15.0	14.25	14.25	13.5
ライ角	60.0	60.75	59.25	61.5	58.5	60.75	59.25	60.0
フェース角	4.0C	2.5C	2.5C	1.0C	1.0C	0.5O	0.5O	2.0O

各部・パーツの名称



FCTポート

ホーゼル

FCTスリーブ

FCTスクリュー



FCT/ASP用トルクレンチ
(ホワイト)



FCTスクリュー
(FCTスリーブ固定用)



FCTリング
(FCTスクリュー脱落防止用)
FCTポート内に配置

トルクレンチ



FCT/ASP用トルクレンチ

ボディカラー：ホワイト
40インチボンド



MWT[®]専用トルクレンチ

ボディカラー：イエロー
30インチボンド



MWT[®]専用トルクレンチ

ボディカラー：シルバー
30インチボンド

FCTを安全にご利用いただくためには用途に見合った適切なトルクレンチが必要です。FCT/ASP用トルクレンチはMWT[®]にも使用できますが、MWT[®]専用トルクレンチではFCTはご利用できません。

FCTクイックインストラクション

FCT(フライトコントロールテクノロジー)は、大きな飛距離を得るために、ロフト角を調整し、打ち出し角を高くしたり低くしたりボールのスピンの量を変えたりする事ができます。



フライトコントロールテクノロジーによるロフト角の変更方法

- ① ヒールに設置されたFCTスクリューを緩めます。
- ② FCTスリーブを回転させ調整したい角度のポジションを選択します。
- ③ 選択したスリーブポジションのラインとホーゼルに印された矢印を合わせ、FCTスクリューを締め付けます。GLOIREドライバーの場合、標準ロフトは9.5°と10.5°と11.5°(メンズモデルの場合)の3種類です。FCTスリーブを“higher”と表示されたポジションにセットするとロフトが1.5°大きくなりスピンの量が約750回転増えます。FCTスリーブを“lower”と表示されたポジションにセットするとロフトが1.5°小さくなりスピンの量が約750回転減ります。FCTは8つのポジションから選択が可能です。

図1-a



FCTスリーブは工場出荷時にすでにシャフト先端に固定されています。

FCTスクリューはFCTリング (FCTスクリュー脱落防止用) によりFCTポート内に残ります。

図1-c



シリアルナンバー

図1-cはスタンダード (STD) ポジションに正しく装着されている状態です。
(工場出荷時)

図1-b



ホーゼル

FCTスクリューは図のようにホーゼルの内側のFCTリングにより脱落しません。

図1-d



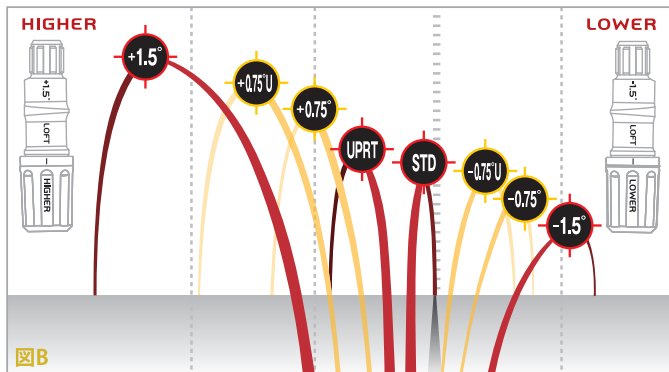
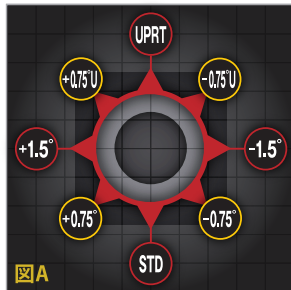
図1-dはシャフトが正しく装着されていない状態です。
図1-cのようにFCTスリーブのシルバーに塗られた先端部分が完全に隠れるまでFCTスリーブをホーゼルの奥まで挿入してください。

FCTポジションとロフトオプション

FCTスリーブのポジションとロフト角オプション、弾道イメージの関係は図A、図Bのようになります。

FCTスリーブのポジション変更をすることでロフト角が変わり、図Bのように弾道の高さを変える事が出来ます。ロフト角は、表示ロフトを基準に $\pm 1.5^\circ$ の範囲で8つのポジションから選択できます。

※ロフト角を変えると、ライ角とフェイスアングルも連動して変わります。(P3参照)



※図の説明は右打ちプレーヤー基準です。

FCTポジション(ロフト角)変更の手順

FCTのポジション(ロフト角)を変更するには、FCT/ASP用トルクレンチの先をヘッドのソールに配置されたFCTポートに取り付けてあるFCTスクリューの六角(星型)の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込みます。片手でFCT用トルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、FCTスクリューを時計回りとは逆に回転させて緩めてください。約5回転ほどで緩みます。その際、FCTスクリューはFCTリングによりヘッドからは外れず、FCTスリーブはシャフトごとホーゼルから取り外す事が可能です。(P7:図1-a、1-b参照)

次に選択したポジションをホーゼルに印された矢印に合わせてみます。FCTスリーブの付いたシャフトをFCTスリーブのシルバーに塗られた先端部分が完全にホーゼル内に入って見えなくなるまで差し込みます(P7:図1-c、1-d参照)。FCT/ASP用トルクレンチを用いてFCTスクリューを時計回りに締めつけてFCTスリーブをヘッドに装着してください。FCTスクリューは、完全に取り付けられたことを知らせるカチツというレンチの音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。(FCTスリーブは、特定のトルクまで締め付けることにより完全に固定できるよう設定されています。FCT/ASP用トルクレンチは「自動過剰締付防止機能付き」です。これはFCTスリーブの固定に必要なトルク量で締め付けられるレンチ、という意味です。)



FCTスリーブを緩めるには時計回りと逆に回転させてください



FCTスリーブを締めるには時計回りに回転させてください

重要：損傷を防ぐために

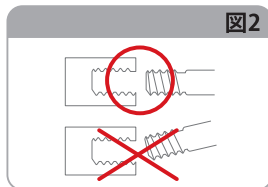
FCTスクリーとシャフトに固定されたFCTスリーブの損傷を防ぐため、以下を守ってください。

取り付け作業時に、FCTスクリーのネジ山とFCTスリーブのネジ溝がまっすぐに揃っていることを確認してください。この確認を怠ると、それぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があり、その結果、各パーツの取り外しや取り付けができなくなります。

(図2参照)

取り外し、取り付けの最中には、トルクレンチの先がFCTスクリーの六角(星型)の穴に完全に、そしてしっかりと挿入されていることを確認してください。トルクレンチとクラブヘッドをしっかり支え、トルクレンチの先端と六角(星型)の穴が常に垂直になるよう気をつけてください。

取り付け中、FCTスクリーが完全に取り付けられたことを知らせるトルクレンチのカチッという音が聞こえたら、トルクレンチの締め付け回転をやめてください。



注意事項

TaylorMade®社製専用トルクレンチ以外の工具による取り外しや取り付けを行わないでください。六角(星型)のネジ穴がつぶれたり、または接続部分が破損したりすることを避けるためです。

また、MWT®専用トルクレンチではFCTの操作はできませんのでご注意ください。ネジの緩みや破損の原因となり、クラブを正しく使用することができなくなります。(P5参照)



プレーまたは練習の前には、毎回クラブヘッドを注意深く点検し、FCTスリーブが正しく装着されていることをご確認ください。FCTスリーブのシルバー色がホーゼルより見えている場合には、FCTスリーブが正しく装着されていない事を示しています。(P7:図1-c、1-d参照) FCTスリーブがFCTポートに適切に装着されていない限り、コースを回ったり、ドライビングレンジで練習したり、スイングを試したりしないでください。これらが守られない場合、次のような状況を引き起こす可能性があります。

- ①土、ほこり、湿気、異物などがFCTスリーブのネジ穴、ホーゼル内部のネジ穴の隙間に入り込むことがあります。これらはネジを損傷する可能性があり、FCTスリーブの再装着を困難あるいは不能にします。場合によっては、クラブヘッドやホーゼルの内部に損傷が生じ、結果として、クラブの性能に悪影響を与えることにもなりかねません。
- ②FCTスリーブがホーゼルに適切に装着されていない場合、スイングの最中にヘッドが外れる可能性があります。その結果、ご自分や周りの人が負傷する恐れがあります。

保管方法・お手入れ

- ① FCTスリーブの取り外しは、仕様変更と調整をする場合のみ行ってください。それ以外の場合は、FCTスリーブのネジ穴への異物侵入を防ぐため、クラブ保管時も含めて常時、各パーツを正しく装着したままにしておいてください。
- ② クラブヘッドのお手入れ時またはその他いかなる場合においても、ホーゼルやFCTスリーブのネジ穴に液体が侵入しないよう注意してください。クラブヘッドのお手入れ中は、FCTスリーブが装着されていない必要があります。
- ③ FCTスリーブの取り外しと取り付けは、異物が空のホーゼルやFCTスリーブのネジ穴に詰まったりしないよう、清潔な場所で行ってください。濡れたり汚れたりしたFCTスリーブはそのまま装着せずに、やわらかい乾いた布等で完全に拭きとってからご使用ください。
- ④ ホーゼルやFCTポートの中に異物が入った場合、各ネジ穴の底に異物が落ちないように、ネジの穴が下を向くように持ち、きれいな布で取り除いてください。
- ⑤ シャフトに装着されたFCTスリーブの先端のネジ溝、FCTスクリューのネジ山には、いかなる種類の潤滑剤も使用しないでください。潤滑剤が必要とされることはありません。
- ⑥ FCTスリーブの先端及びFCTスクリューのネジ山は、研磨したり、やすりにかけたりするなどのいかなる改造や変更も決して行わないでください。各パーツの適切な装着が妨げられ、ヘッドがスイングの最中に外れる可能性が生じます。その結果、ご自分や周りの人が負傷する恐れがあります。
- ⑦ 脱落防止用リングで止められている、FCTスクリューは無理に取り外さないでください。

ゴルフ規則について

ラウンド中にFCTスリーブポジションの変更は行わないでください。

- ① テーラーメイドのFCTが搭載された製品は、米国のUSGAおよび英国のR&Aによる「ゴルフ規則」を遵守しています。しかし、ラウンド中におけるFCTスリーブポジションの変更をする行為は、規則第4条2a項『正規のラウンド中、クラブの性能は調節その他の方法により故意に変更してはならない。』という規定に抵触し、ゴルフ規則の遵守不履行とみなされます。
- ② 穴のあいたクラブヘッドは、USGAとR&Aによる「ゴルフ規則」の遵守不履行とみなされます。附則第Ⅱ条4a項には以下のように規定されています。「クラブヘッドの形状は大体において単純なものでなければならない。また、そのすべての部分は堅牢 (rigid) で、ヘッドの実質的な構成部分であるとともに、機能的でなければならない。単純な形状についてはこれを正確に、しかも包括的に定義づけることは困難であるが、単純な形状の要件に反するものとみなされ、したがって規則上許させないものの例として、(a) クラブヘッドを貫き通っている穴が含まれる。」

プロダクトの詳細については弊社ウェブサイトをご覧ください。

japan.taylormadegolf.com

Customer Service Center 商品に関するお問い合わせは、下記フリーダイヤルまで
カスタマーサービスコール 0120-558-562・10:00～18:00(月～金) ※祝日除く

※本マニュアルに使用されている写真や図はイメージです。実際の商品とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

※記載されているスペック数値は設計値です。実測値が設計値と若干異なることがありますのでご了承ください。

